

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
公衆衛生看護支援論	NSP33_009	選択	2	3	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
山崎 洋子 他	301	y.yamazaki	月曜日 12:10～13:00		
授業の目的・概要	公衆衛生看護活動の実践を法令や制度、社会資源、諸理論と関連させながら、発達段階別（母子・成人・高齢者）保健活動、健康課題に応じた地域精神保健福祉・障害者（児）保健福祉・難病保健活動・感染症対策等について解説し、その保健師活動の方法を習得する。また、学校保健活動・産業保健活動における看護実践の方法を解説する。				
授業形式・方法	☒ 対面授業 ☒ 講義 ☒ 演習 ☐ PBL ☐ 反転授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☐ 遠隔授業（双方向型） ☐ 実習 ☐ 実技 ☒ グループワーク ☐ アレクシテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 遠隔授業（自主学習） ☐ その他（ ）				
学習上の助言	人間の心身の発達段階、看護活動に関連する既習の関係法規等についてよく復習しておくこと。また、既習の人体構造機能学や疾病治療論の知識を整理しつつ授業に臨んでほしい。				
教科書	・最新 公衆衛生看護学 第3版 各論1 /編:宮崎美砂子 他 /日本看護協会出版会 /2023 ・最新 公衆衛生看護学 第3版 各論2 /編:宮崎美砂子 他 /日本看護協会出版会 /2023 ・国民衛生の動向2022/2023 /厚生労働統計協会 /2022 [3冊指定]				
参考書	・最新 公衆衛生看護学総論 第3版 /編宮崎美砂子 他/日本看護協会出版会 /2021 ・看護法令要覧 /日本看護協会出版会 /2022				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	発達段階に応じた公衆衛生看護活動の内容とその実践方法を述べられる。			NS(1)～(5)	
②	健康課題別の公衆衛生看護活動の内容とその実践方法を述べられる。			NS(1)～(5)	
③	産業保健、学校保健分野の看護活動の特徴と展開方法を説明できる			NS(1)～(5)	
④	公衆衛生看護活動を法令や制度、社会資源、各理論と関連させて説明できる。			NS(1)～(5)	
⑤	保健師活動に必要な対人援助の姿勢を学ぶ。			NS(2)～(5)	
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間（時間）		
1	オリエンテーション 保健所と市町村の保健師活動	講義	保健師活動指針を読み、所属別の保健師の役割について予習する。		
2	母子保健体系と保健師の役割	講義	国民衛生の動向の母子保健に関連する衛生統計（出生、死亡、死因等）を調べ、また、母子保健対策について読んでおく。		
3	母子福祉活動の実践（虐待予防・子供の貧困対策）	講義・演習	4		
4	成人期の保健対策と保健師の役割	講義	国民衛生の動向の成人保健に関連する衛生統計や保健対策（がん・生活習慣病等）を読んでおく。		
5	生活習慣病予防活動（がん・糖尿病・CKD 対策）	講義・演習	4		
6	高齢者保健福祉対策と保健師活動	講義	国民衛生の動向の高齢者保健福祉・介護予防に関連する衛生統計や対策を読んでおく。		
7	介護予防活動と保健師の役割（地域づくり）	講義・演習	4		
8	障害児（者）保健福祉対策と保健師の役割	講義	先天性の障害、中途障害の受傷経過について調べておく。		
9	障害児（者）への保健師活動	講義・演習	ノーマライゼーション、生活機能分類について調べておく。		
10	精神保健福祉対策と保健師の役割	講義	罹患者の多い難病について病態を調べておく。		
11	難病保健福祉対策と保健師活動	講義	主な感染症とその病態について復習しておく。		
12	感染症予防の体系と保健師活動	講義・演習	結核、AIDS について調べておく。		
13	感染症対策と保健師活動（結核・エイズ等）	講義	学校保健の特徴について、整理する。		
14	学校保健活動	講義	産業保健の特徴について、整理する。		
15	産業保健活動	講義	これまでの授業を振り返り、疑問点、学習課題を明らかにする。		
試	定期試験				

達成度評価								
総合評価割合 (%)			試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
			50	30	20	0	0	100
総合力指標	知識・技術力		30	0	0	0	0	30
	思考・推論・創造する力		20	10	0	0	0	30
	協調性・リーダーシップ		0	0	10	0	0	10
	発表・表現伝達する力		0	0	5	0	0	5
	コミュニケーション力		0	0	5	0	0	5
	取組みの姿勢・意欲		0	10	0	0	0	10
	問題を発見・解決する力		0	10	0	0	0	10
評価のポイント								
評価方法	行動目標		評価の実施方法と注意点				フィードバックの方法	
試験	①	✓	定期試験：筆記試験とする。また、問題は保健師国家試験出題基準を含む。				解答の解説をする。	
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤							
レポート	①	✓	レポート課題に対して適切に論述することが必要である。				レポートはコメントして返却する。	
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤	✓						
成果発表	①	✓	講義の前後に集団討論を行い、自身の考えを深める機会とする。				グループでの討論内容は、レポートに反映させる。	
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤	✓						
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
その他	①	✓	出席日数と課題提出等総合的に評価する。出席日数と日々の受講態度、演習等を総合的に評価する。				問題が生じた場合は、個別に面接を行う。	
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤	✓						
備 考								
他 担 当 教 員	望月宗一郎、渡邊美樹、伊丹幸子							
教 員 の 実 務 経 験	各担当教員はそれぞれ複数年、保健師として保健所や市町村に勤務している。							
実践的授業の内容	保健所・市町村における行政保健師活動の実務経験を元に内容を構築し、公衆衛生看護について理解を深める。教員の経験からさまざまな事例を取り上げ、教科書と比較しながら学習する。							
そ の 他	・ 毎回対面授業に出席し、積極的な態度で授業に臨むことを重んじる。原則として理由のない欠席はしないよう心がけること。 ・ 学生の理解度に応じ、対面授業の速度や順番を調整する可能性がある。 ・ 状況により Teams を使った同双方向型授業も実施する場合は通信容量無制限の WiFi 環境を推奨する。 ・ 今後、新型コロナウイルス感染症の状況により、シラバス内容が一部変更となる可能性がある。・本科目は、保健師課程選抜者のみ履修可能である。							